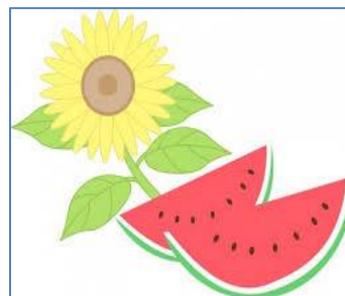


## ■明日から夏休み



明日から夏休みになりますね。新型コロナウイルスが5類に移行してから初めての長期休暇となります。みなさんの中にも家族で旅行など考えている人もあるのではないかと思います。この3年ほどの夏休みとは違った過ごし方になるのではないかと思います。体調には十分に気をつけて過ごしてください。また、暑さ対策もしっかりして熱中症などにも十分注意しましょう。

さて、まずは学習面、生活面、部活動など、1学期の反省をしっかりとしてみましょう。特に3年生諸君は、基本的に1年生のときからこの3年の1学期までの成績が進学・就職を問わず、志望校や志望企業に送られていくことになります。大学や短大を推薦(指定校制や公募制など)で受験することを希望している諸君は、絶対的な条件の1つに評定平均値があります。今月半ばに、3学年の各クラスに指定校推薦の一覧表を配付しましたが、もし志望校の条件に届かなかった場合には、総合型入試などで受験していくしかありませんので、この夏休みを利用してしっかりと準備をするようにしましょう。

1年生から3年生まで夏期講習や部活動などで毎日忙しく過ごしていく人も多くいることと思いますが、ほとんど学校に登校することなくだらだらと(?)過ごしてしまう人もいるのかもしれませんが、特に後者に該当しそうな人はきちんと計画を立てるところまでは求めませんが、毎日少しでも学習(夏休みの宿題や1学期の復習)に取り組み、「夏休み中にこれだけは実行する!」という目標を持って生活してほしいと思います。

各大学・専門学校のオープンキャンパスも夏休み中に開催されます。数年前までは「来る者は拒まず」というスタンスで受け入れていた学校が多くありましたが、この夏休みを実施する際は、事前予約制であったり、人数制限が設けられたりするところが多くありますので、よく確認して参加するようにしましょう。

## ■大学の指定校推薦について



7月10日付で3年生の各クラスに大学・短大の指定校一覧(第1版)を配付しました。1・2年生のみなさんには、全体の学習成績の状況(評定平均値)が毎年変わる学校もあることから、勝手な先入観を持たせないためにクラスへの配付はしていません。しかしながら、どんな大学から枠をいただいているかは知っておいてほしいので、以下のとおり、お知らせします。参考にしてください。なお、進路指導室で、細かい条件等について確認していただいても構いませんが、あくまで参考資料として活用してください。ここでは、4年制大学のみを掲載します。

【指定校の枠を頂戴している大学 ※五十音順に掲載】

アール医療専門職大学 青森中央学院大学 足利大学 育英館大学  
茨城キリスト教大学 医療創生大学 植草学園大学 浦和大学 江戸川大学  
大妻女子大学 神奈川工科大学 亀田医療大学 川村学園女子大学  
関東学院大学 共栄大学 神戸医療未来大学 郡山女子大学 駒沢女子大学  
埼玉学園大学 埼玉工業大学 相模女子大学 作新学院大学 札幌大学  
秀明大学 淑徳大学 松蔭大学 尚絅学院大学 城西大学 城西国際大学  
尚美学園大学 上武大学 駿河台大学 聖学院大学 聖徳大学 専修大学  
仙台大学 創価大学 大正大学 太成学院大学 拓殖大学 多摩大学  
千葉科学大学 千葉工業大学 千葉商科大学 中央学院大学 帝京科学大学  
桐蔭横浜大学 東海学院大学 東京医療学院大学 東京家政大学  
東京工芸大学 東京国際大学 東京情報大学 東京女子体育大学  
東京聖栄大学 東京成徳大学 東京電機大学 東京農業大学  
東京保健医療専門職大学 東都大学 東北学院大学 東北工業大学  
東北文化学園大学 東洋英和女学院大学 東洋学園大学 常磐大学  
名古屋芸術大学 名古屋商科大学 新潟医療福祉大学 新潟食料農業大学  
新潟薬科大学 日本大学工学部 日本医療科学大学 日本ウェルネススポーツ大学  
日本工業大学 日本福祉大学 日本文化大学 日本薬科大学 人間環境大学  
人間総合科学大学 八戸工業大学 東日本国際大学 ビューティ&ウェルネス専門職大学  
平成国際大学 北翔大学 北陸大学 北海道文教大学 宮城学院女子大学  
武蔵野学院大学 ものづくり大学 山梨英和大学 横浜薬科大学 了徳寺大学  
麗澤大学 和光大学

今後、上記以外の大学からも指定校推薦に関する通知が送られてくる可能性があります。適宜「進路通信」でもお伝えしていくつもりであります。

## ■ 日本学生支援機構奨学金の予約採用について

5月に説明会を行い、6月と7月と合わせて約60名の生徒が日本学生支援機構の予約採用の申込みを行いました。特に今年度は7月になってから、「予約採用の説明が聞きたい」と申し出てきた生徒が数名いました。説明会や学年集会など、折を見て、「少しでも申し込む可能性がある人は、指定された期間でガイダンスに参加するように」と伝えてきましたし、「申し込んでもキャンセルが可能」であることもBLENDや「進路通信」でもお伝えしてきたかと思えます。「書類提出期間」と「スカラネット入力期間」を明示してお伝えしていましたので、提出期間と入力期間を厳守してほしいところでした。特に6月、7月は高体連県大会、県総体地区大会、東北大会、学校行事、定期考査等、さまざまな行事等が混み合う時期ですし、進路関係も就職希望者のための求人票閲覧の準備や指定校一覧表の作成など、なかなか時間がない時期でもあります。



【裏面に続きます】

1・2年生で3年生になってから日本学生支援機構の予約採用を希望する場合には、しっかり話を聞いて、期限を守るようお願いしたいと思います。日本学生支援機構は、提出期限、書類審査等、非常にシビアですから、担当者の話にはしっかりと耳を傾けてほしいと思います。

なお、予約採用を申し込んだ3年生のみなさんに対して、11月以降に結果通知が送られてくるものと思われます。結果通知に従って、必ず申し込むようにしてください。給付型を希望した生徒で評定平均値が3.5に達していない生徒には、後日、記載してもらった書類を用意し、それに基づいた面談を夏休み中に実施したいと考えています。後日、BLENDでお伝えしますので、必ず対応するようにしてください。

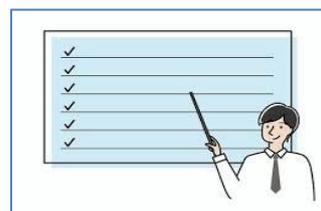
## ■就職希望者へガイダンス

3年生の就職希望者へのガイダンスを7月12日（水）と7月13日（木）の昼休みに行いました。求人票の見方、面接ノートの作成の仕方などを説明しました。なかなか時間がありませんので、夏休み中も登校し、進路指導室でじっくりと求人票を閲覧して希望の会社を探していくことをお勧めします。なお、職場見学はお盆前の8月上旬までを目途に複数の企業を見学させていただくようにしましょう。よく比較したうえで、受験企業を決定していくと良いと思います。夏休みが明けるとすぐに応募書類を発送しなければなりません。履歴書の作成、面接の練習など、早くから取りかかり、余裕をもって準備を進めていくようにしましょう。進路指導担当者のうち、清水については夏休みの出勤状況が分かるように進路指導室に掲示しておきますので、よく確認のうえ登校し、指導を受けるようにしてください。



## ■高校2年生にリクルートガイダンス

7月7日（金）の5～6校時に、リクルート講演会を聖賢堂で開催しました。当日は、2名の講師の方にアドバイスをいただきながら、3年生になってからスムーズに進路活動を進めていけるように、2年生の夏休み中に各大学や専門学校のオープンキャンパスに参加しようとの話をいただきました。その際の予約の仕方など、実際に大学のホームページなどを活用して各自で試してみました。聖賢堂に2年生が一堂に会して実施したこともあってか、なかなかアクセス状況が良くなく、大学の情報を開くことのできない生徒もいましたが、アドバイスいただいたことをもとに、この夏休み中にぜひオープンキャンパスに参加し、少しでも情報収集し、希望進路実現に向けて、着実に準備を進めてほしいと思います。人気のある学校は早くに定員に達してしまう可能性がありますので、余裕をもって申込みましょう。できるだけ多くの学校を見て、比較検討しておくが良いと思います。



## ■卓球・石川佳純選手引退



「あなたを応援して、本当によかった」。5月に、23年間に及ぶ競技生活にピリオドを打った卓球の石川佳純選手をサポートしてきたスポンサー企業が、引退会見の翌日の新聞広告に掲載していたメッセージです。石川選手とスポンサー企業との関係性が見えてくるようで、温かみのある言葉だと感じました。

筆者（本校卓球部顧問）が石川選手を知ったのは、もう20年近く前になります。「山口県に天才卓球少女がいる」と卓球の雑誌などで度々報じられ、小学生時代にはすでに全国大会を制していました。フォアハンドドライブを武器に、同世代の中では頭一つ飛び抜けている印象でしたが、当時はメガネをかけていたこともあってか、真面目でおとなしい選手なのかなと思っていました。

その印象が変わったのはロンドン五輪日本代表候補選手として注目されるようになった高校生の頃です。テレビで取り上げられることが多くなり、実に明るく、あっけらかんとした性格なのだということが段々と分かってきました。

ロンドン五輪の女子団体で、日本卓球協会としては初のオリンピックメダル（銀メダル）を獲得し、それ以降、リオデジャネイロ五輪、東京五輪と石川選手は日本代表として、メダル獲得に貢献してきました。リオデジャネイロ五輪ではシングルスでのメダルも期待されましたが、残念ながら、一步届きませんでした。それでも、本人も印象深かった出来事として挙げていましたが、2017年の世界選手権での混合ダブルス優勝（※吉村真晴選手とのペア）や全日本選手権女子シングルス5回優勝など、五輪でのメダル獲得以外でも卓球界に多くの足跡を残しました。彼女の明るいキャラクターが卓球のイメージアップに大きく影響したとの評価も高く、卓球界に対する貢献度は計り知れません。

そんな石川選手も、東京五輪のシングルス代表権獲得をめぐるのは、後輩たちとの厳しい争いに、かつてないほどのプレッシャーに押しつぶされそうになったこともあったと思われそうですが、最後まであきらめずに挑戦を続けました。僅少差で代表権を獲得し、団体だけでなくシングルスでも戦いに挑みました。引退を決めた理由としては、5月に南アフリカで開催された世界選手権の代表権をつかめなかったことと、選手として「やりきった」と思えたからだそうです。競技者として、そのように思えた石川選手にしか見えない景色が数多くあったのだろうと想像します。

石川選手がこれから先、どのような道を歩むことになるのかは分かりませんが、テレビのコメンテーターとしても、卓球の指導者としても十分に期待に添える活躍をしていけるのではないかと考えています。例えば、先輩格の平野早矢香さんについて、現在のように卓球界以外の方からも知られるようになる前から、筆者は「平野さんはテレビのコメンテーターなどもうまくこなせそう」と密かに思っていました。最近は、情報番組などで目にする機会も多くなり、「やっぱり向いていたか！」と思うこともしばしばです。

石川選手もしっかり休養してから新たな一步を踏み出していくのだろうと思われそうです。どのような仕事に就いたり、どのような立場になったりしたとしても、やはり愛されるキャラクターで輝き続けるのではないかと考えています。本人は「大学に行きたい」との考えもあるようですが、いずれにしても、今度は、「あなたと仕事をして、本当によかった」とか「あなたに指導してもらって、本当によかった」と言われることになるのでしょうかね。きっと。

文責：清水聖（進路指導主事）